

「アメリカに何が起きているのか？聖書預言との照合アップデート」2020.06.07

[https://www.youtube.com/watch?v=UyS\\_ES\\_cV7E&t=36s](https://www.youtube.com/watch?v=UyS_ES_cV7E&t=36s)

さてそれでは、おはようございます。ご覧になって下さってる方々を歓迎します。生放送を見て下さっている方、ご参加下さり、大変嬉しく思います。また後でご覧になる方も歓迎します。あなたがこれを見て祝福されることを信じています。今日は、始める前にお伝えしたいのは、実はこの週末、イタリアのサンレモで行われた 預言カンファレンスがライブ中継されました。今イタリアでは何時頃なのか分かりませんが、たぶん夕方なのではないかと思いますが、昨日と今日、両方ライブ配信されました。私は光栄にもこれに参加できました。皆さんご覧になることをお勧めします。ウェブサイト URL は newhubvision.org です。各地からのたくさんの講演者がおられ、皆さんきっと祝福されると思います。

では本題に入りましょう。今日は話す事がたくさんあります。どうかお許しいただきたいのは、前置きさせていただく事です。今日は、アメリカで、またアメリカに、何が起きているのかをお話しますから。1963年、私の両親は「合法的に」移住しました。（理由があって「合法的に」と言っています）

中東から合法的にアメリカに移住して来ました。私は生後9ヶ月でした。私は、レバノンのベイルートで生まれました。そこが、両親が住んでいた場所です。これは1963年のことです。彼らは中東を離れ、彼らはイスラム教から逃がれてこの素晴らしい国に来たのです。この国に来ていなかったら、私は生きていのかどうか分かりません。ましてや、私がキリストのもとに来ていたかどうかは言うまでもありません。そのことを、私は永久に感謝しています。文字通りに、永遠に感謝しています。しかし、私たちが1963年に移住したアメリカは、今のアメリカではありません。悲しいことです。3年前の2017年、当時10歳だった私の娘のサビアは、ニューヨークで開催された「全米テニス・オープン」で「アメリカ・ザ・ビューティフル（アメリカ国歌）」を歌うためのオーディションを勝ち抜きました。3年経った今、私はそのビデオを見る事ができません。それを見るたび、私はいつも泣いていました。私は実際にネットで国歌の歌詞を読みました。実は賛美歌なんです。実は賛美歌なんです。いつも歌われているものだけではなく、歌詞を全部読んでみました... 2006年、私はこの毎週の預言アップデートを始めました。私は主から、私たちが知っている通りの人類歴史の最後の時代に入ろうとしていると示唆されたように感じたからです。かつて見たことのないような時代でそして二度と見る事のないようなもの。それで私は主に促されて、毎週の預言アップデートを始めました。ですから、私たちは毎週、終わりの時について、イエス・キリストがまもなく来られる事について話しました。これが14年前のことでした。先週私は、この14年間を振り返ってみました。そしてゾッとする思いで、全国的な暴動を見ていました。そうしていると、大変馴染み深い悲しみに圧倒されました。主が私に教えて下さったのは、またしても、私が、死を悲しんでいる事。愛する者のためではなく、愛する国のために。私はこの国をととても愛しています。しかし主は、ペテロにされたのと同様に、私に質問されました。「わたしよりもこの国を愛しているのですか？」復活の後、イエスが弟子たちに現れたとき、彼らはたくさんの魚を釣りました。一晩中釣れなかったのですが、「ペテロに任せればいい。」一旦網を舟の反対側に降ろしたら...その船の幅はどのくらいだったのでしょうか？なぜなら網が破れそうになるくらい多くの魚が釣れ、それを引き上げないといけないのですから。これは、ペテロがイエスを3度否定した後で、イエスがペテロを3度回復させた時のことです。しかしその過程でイエスは、質

問を投げかけます。それは今日の私たち一人一人の前に あるものだと思います。「あなたがアメリカを愛しているのは知っています。（神はアメリカを祝福されました。）...でも、あなたはわたしよりもこの国を愛しているのですか？」

「わたしよりも この世界を愛しているのですか？」2006年に娘のノエルが亡くなった時、妻と私は、「5段階の悲しみ」と言われるものを経験しました。それが今、私が個人的に経験している悲しみです。私たちは本当に、一つの国家の死を 目の当たりにしていると思います。そのため、多くの人が 悲しみのプロセスを経験しています。悲しみのプロセスの最初の段階は、否認です。その後、怒りと駆け引きにつながります。それは、落ち込み、悲しみ、悲嘆に取って代わります。本当に深い悲しみです。そして一旦避けられないと思って諦めたら、受け入れが生じます。私が悲しむ事において学んでいる事の一つは、悲しめば、悲しむほど、癒されるのが早いという事です。悲しみに向き合わない人たちは、それに蓋をし、後回しにしますが、いずれ、それは醜い頭をもたげてきます。私がこれまでに学び、今も学んでいるのは、神がその恵みと憐れみにおいて、私たちに この悲しむという能力を与えて下さっている事です。だからこそ、うんと泣いた後は いつもすごく気持ちがよくなるんです。ところで、、、私は泣くんです。皆さんご理解ください。イエスも泣かれました。だから、そんな目で見ないでください。ちなみに使徒パウロも泣きました。子どもの頃、「大人の男は、泣かないものだ！」と言われて、絶対に泣きませんでしたね。言っておきますが、今のは、私の子供時代についての作り話です。泣くと、ストレスや体内に溜まっていた毒素が 放出されます。だからこそ、うんと泣いた後は いつも気持ちがいいんですね。それは悲しみのプロセスです。私たちは、希望のない者のように悲しむことはありません。この後すぐにその話をしますが、そうであっても、やはり悲しむのです。私は、ここアメリカ以外で ご覧になっている方が多いのも良く分かっています。しかし、それはアメリカだけの事ではなく、 世界の問題なのです。

先週私は、私たちが「目撃している」と思う と述べました。この表現を使ったのには 具体的な理由があります。私たちは、現在の世界秩序の操作的な解体を 目撃しており、それは、混沌から生じる秩序により、新世界秩序をもたらすためです。それが今起こっている事です。私はこう確信しています。私たち一人一人の前に明快に呼び掛けられているのは、この世界を手放すこと、そしてこの世が過ぎ去ろうとしている事実を 受け入れることです。使徒ヨハネが、第一ヨハネの手紙2章15節から17節に聖霊によってこう書いています。

**「あなたは世も世にある物も、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。」（第一ヨハネ 2：15）**

**「すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出る者ではなく、世から出るものだからです。」（第一ヨハネ 2：16）**

そして、17節に書かれていることに 耳を傾けてください。

「世と、世の欲は過ぎ去ります。...彼が何を言っているか分かりますか？それは今日、私たちが言う事ではないでしょうか？今週、2回の葬儀をします。二人の方が亡くなりました。私の娘が死にかけていた時、それは時間の問題だと知っていました。亡くなる事が、"もしかして"ではなく、もう"いつなのか"ということでした。彼女は過ぎ去ろうとしていました。ヨハネが言っているのは、そういう事です。

世界は滅びかけている！！

「世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。」 (第一ヨハネ 2:17)

まだ、否認の段階、あるいは怒りの段階にさえいる人がいるといけないので...この点に関して、ともに火曜日の 次の2つの報道を考えてみましょう。 まず、エルサレム・ポストから。

「イラン、ロシア、中国、トルコが アメリカの崩壊を祝っている。」 という記事が掲載されました。引用します。「世界中の独裁的な政権は 説得力のある説明を推し進めていて... (興味深いです) ...それはアメリカで生じた混乱を ほくそ笑んで祝っているように見える。...月曜日、イランのメディアは『崩壊』を強調するニュース記事押し出した。...その際、ロシアの情報源による 以下の描写が引用された。『米国は "その世界秩序が崩壊しつつある" 中、ジタバタしている。』...米国の抗議行動や COVID-19の危機により、ワシントンは急速に衰退しているように見える。...四大国：中国、ロシア、トルコ、イランは それを利用して、より強力になって出現する準備をしている。...かつて一これをお聞きください。— ジョージ・H.W. ブッシュが 新世界秩序(NWO)について語った場所だ。...今、これらの国々は、混乱の中で 米国の世界秩序を葬ろうとしている。」同日、火曜日、タイムズ・オブ・イスラエル紙が、ネタニヤフが入植者に、併合に対する米国の熱意が『冷めたかもしれない』と述べたことを報道しました。タイムズ紙から引用。「関係者によると、熱のこもった会議を後にした 入植者のリーダーたちは、併合が、当初ネタニヤフによって公約されたほど『早い時期に、またはその枠内』では 実現しないだろうという印象を受けていた。」ちなみに、いわゆる「世紀の取引」によるものです。さて、同意しない方もいらっしゃるの承知の上ですが、しかし聖書預言のどのページを見ても、アメリカという国は見つかりません。ここで出てくる疑問は、私たちが今見ているものは、エゼキエル38章にアメリカが出てこない理由を説明するものなののでしょうか？ エゼキエル書38章に見られるこの預言を ご存じない方のために言いますと、それは、非常に詳細で、非常に具体的な預言で、この同盟諸国が北からシリアを經由し、イスラエルに侵攻するものです。この同盟の主導権を握っているのは、ロシア、イラン、トルコの3カ国に他なりません。彼らはイスラエルを侵略します。非常に興味深いのですが、エゼキエル38章13節で語られている侵略の目的は、イスラエルから物を分捕り、獲物をかすめ奪い、イスラエルの繁栄を略奪することです。そしてこんにち、イスラエルにはその繁栄があります。エゼキエル書38章13節でさらに興味深いのは、タルシシュとともに、サウジアラビアが シェバ、デダンという古代の名で語られています。彼らと、そのすべての若い獅子たちは、ただこの侵略に抗議し、詰問するだけです。先週の記事で...時間の関係上 全部入れなかったのですが、全部入れたら、私たちは 来週までここにいるでしょうし、そうしたら来週の預言アップデートが出来ません。しかし先週あった最新ニュースは、ヨルダンにより、サウジアラビアが「ワクフ」の一員になる事が認められました。Waqf/ワクフとは何か？ ワクフはアラビア語で、停止する、止める、という意味です。そして、ワクフは現在、神殿の丘を支配している財団です。何がそんなに面白いかというと、今、突然、この18~24ヶ月の間、イスラエルと非常に有効的な関係にあった サウジアラビアが、エゼキエル38章の中で語られている通りですが、今、神殿の丘に関して、重要な役割を持つことになりました。聖書預言を学んでいる人にとっては、これは非常に意義のあることで、預言的に大変重要なことです。では、アメリカに戻ります。何人かの人たちが信じているのは、エゼキエル書38章13節で語られているのは、「シェバとデダン」としてのサウジアラビア、そして「タルシシュとその若い獅子たち」とは、イギリスとアメリカを指しているという事です。それについて独断的にはなれません。

確かにその可能性はあります。そして確かに当てはまるようです。なぜならそうだとしたら、筋が通りますから。この預言が成就して、この同盟国による攻撃、侵攻が起こる時、イスラエルを支持する国はないからです。実際に、預言の詳細という事になれば、私たちに非常に詳細に、非常に具体的に告げられているのは、神ご自身が、このリーダー、つまりゴグ（ロシア）の顎に鉤をかけ、彼と彼の同盟諸国を、神の民、すなわちイスラエルに攻めて来させる事の目的です。神ご自身が彼を引っ張り込むのです。なぜ神はそんなことをするのか？ ああ、私たちは理由を言われています。

**「わたしは、わたしが大いなる者であること、わたしが聖であることを示し、多くの国々の 見ている前でわたしを知らせる。 そのとき彼らは、わたしが主であることを知る。」 (エゼキエル 38:23)**

彼らが大量破壊、壊滅的な敗北、この同盟国による侵攻が完全に全滅するのを見る時に。あらゆる予想を覆しての事です。それは神の民イスラエルのための 神の力強い御手による超自然的な業であること以外、説明はありません。で、アメリカは何処に？ もし、その人たちが言うように、タルシシュがイギリスで、その若い獅子たちが 若い国、アメリカ合衆国だとしたら、それは、非常に曖昧に アメリカを指していることになります。アメリカはどういうわけか、このイスラエルの侵攻に対し、ただ抗議したり、詰問するだけの立場に弱められてしまっています。イスラエルを支持するという点からは、どこにも見られません。となると、この疑問はまだ 解決されていませんよね？ アメリカはどうなるのか？ アメリカが先に滅ぼされて 取り除かれねばならないという事はあるのでしょうか？ この同盟諸国がイスラエルを侵略するのに先立って？ 私の答えは必然的にこうなります。その通りです。そうでなければいいのにとおもいます。でも、そうなんです。これを深読みし過ぎる危険性は 認識していますが、しかし火曜日、掲揚してあった世界最大のアメリカ国旗が ウィスコンシン州で、激しい雷雨の後、真っ二つに引き裂かれました。それは火曜日のことでした。木曜日には、ワシントン記念塔に 落雷したのが目撃されています。ワシントンDC上空の暴風雨の動画が ネットで公開されています。実際、州兵2人が負傷しました。これは単なる偶然なのか？ そうかもしれません。私には分かりません。しかし、私が知っているのは、アメリカを崩壊させる策略があるという事です。悲しいことに、この策略は何十年も前から続いているものです。しかし、それは今、言わば「超高速」に乗っているようです。あえて言うならば、今日生存している人たちで、アメリカ合衆国を崩壊させることに 文字通り、死に物狂いの人たちがいます。

1月25日のワシントン・タイムズ紙の 論説記事によると、「89歳になったジョージ・ソロスは今も、アメリカを滅ぼすことを狙っている。」その中で、記者が書いているのは、「ジョージ・ソロスは89歳。彼は自分が死ぬ迄に、...アメリカの内部崩壊を見届けようとしている。少なくともそのように見える。...

スイスのダボスで、ソロスは、新オープン・ソサエティー財団への10億ドルの投入を発表した。...世界中の学校に資金提供し、...『反ナショナリズム教育をするため』とファイナンシャル・タイムズ紙は報道した。...言い換えれば、主権の弊害を次世代に教育するため、...新しい若者たちに、善良で従順な '世界'市民になる方法を教えるために...ソロスの言葉で言うと、『これまでで最も重要で永続的なプロジェクト』...不思議はない...本当にそうかもしれない。...成功すれば、それは国境の崩壊、...世界政府の実現、...そして私たちが知っている通りのアメリカの終わりを 意味するかもしれない。」

皆さんも、きっと、私が見たのと同じ映像を見たことでしょう。この国の街々の路上に届けられた、パレット上に高く積み上げられたレンガ。仕事が欲しいガラス会社が 届けたのではないはずです。ユ

ーモア、またはその試みをお許してください。それらを買ひ、支払いし、署名し、捺印して届けたのは、他ならぬジョージ・ソロスと、彼のように、私が思うところ、悪魔に取り憑かれた者たちです。「先生、かなり強硬ですね。」 「そうですね。その必要があるかもしれません。」 聖化された皮肉をお許してください。

それは牧師として、もっと許容されやすくし、もっと牧師的な響きを与える言い返しです。「聖化された皮肉」私が間違っていなければ、私たちは、まだパンデミックの最中にいる筈ではなかったのですか？

いや、私は...私だけでしょうか？ 再度、聖化された皮肉をお許してください。不正を理由に大衆が暴動を起こすのは、許されるみたいですね。でも、教会が集まってイエスを礼拝するのはダメです！ 事業を再開し、生活をし、再び収入を得るのはダメです？！ 被雇用者が、解雇されていない事を祈りつつ、仕事に戻るのにはダメなんです？！ でも、抗議デモには行っていい！！ 金曜日、フォックスニュースのタッカー・カールソンは、ララ・ローガンを番組に出演させ、社会正義と社会距離維持について話しました。これは面白いですよ。画面上のスクリーンショットには、以下の見出しがみついています。引用します。「健康専門家の話。商業活動は閉鎖を保ち、屋内に留まるべき。抗議デモは例外。」ふーん。もっとひどくなりますよ。彼らが実際に引き合いに出しているのは、この文書で、それには1,000人以上の健康専門家が署名をしているようです。専門家ですよ。彼らは実質的に、抗議活動は「公衆衛生に不可欠なもの」と言っているんです。その文書の中らいくつかの抜粋を紹介します。以下引用。

「公衆衛生の擁護者として、我々は、COVID-19感染のリスクがあるとしてこれらの集まりを非難しません...これは、全ての集まりに対する寛容姿勢として、特に自宅滞在命令に対する抗議と、混同されるべきではない。」「待って、待って、ちょっと待って。 どういう事?!」ということは、私は頭の回転が良くありませんが、私の読み方が正しければ、それが何ちゅう内容かつつと... 突然の訛りをお許してください。どこから出てきたんでしょう...。そうしなかったら、泣くかもしれません。泣いてばかりいたくありませんから。私が泣くと、居心地悪い思いをさせていただきますから...。言い換えれば、抗議には行っていいという事です。心配することはなく、これらの健康の専門家は、こういう“集まり”を非難しないんです。ただの“集まり”ですから。だから大丈夫です。それはやってもいいんですね。「不正には抗議してもいいのだ!!」「でも（自粛命令に）抗議するのは駄目です。あなたがたに家から出て欲しくない。」皆さん、第二礼拝では、待望の第二テサロニケ2章を始めます。最初の2節だけ取り組みます。しかし、その章を進んで行くと、この一週間だけでも私が何度聞いたか分からない、ある事が書かれています。それは、「不法」と関係があります。使徒パウロ曰く、

**「不法の秘密はすでに働いています。」（第二テサロニケ 2:7）**

そして、神ご自身がこの「強い惑わす力」を送られます。この強力な惑わしです。そして人々はそれを信じるようになります。なぜか？ 彼らが真理を拒絶したからです。人々はこれを信じてるんです。そしてこの叫びは、、、私は礼拝の前にアーバンさんと話していました。HPD（ホノルル・ポリス・デパートメント）の警察官です。本土の警察は台無しにされてるんですよ。皆さん、知ってますよね？ 「でも先生、ジョージ・フロイドの件は?」「そうですね。」じっくり考えてみましょう。彼らは警察の予算削減と解体を求めています。それをじっくり考えてください。「ちょっと待ってください。何を言ってるんですか、先生。あなたは警察を支持しているんですか?」「そうです。」私はまた、...

何と云えばいいのでしょうか？ メモしておけば良かったです...ちなみに私が覚書を持っているのはこのためです。私はこうやって問題を起こす傾向があるんです。賜物です。「木曜日の夜にお越し下さい」と言う事にしてもいいですか？ マック副牧師が私を助けてくれますから。ちなみに彼は生まれつき ああなんです。はい。ごめんなさい。我慢できなくて。笑ってくれてありがとう。彼は、私の黒人の異母兄弟で、私の副牧師です。私も生まれつき、こうなんです。さっきも言った通り、賜物です。私は問題を起こす事がありますから、木曜日の夜は、マック、私を助けてくれますよね？ さて、これだけ言っておきます。その問題ではないんです。皆さんがそれが問題だと思うなら、嘘と惑わしと欺きを鵜呑みにしているのです。人種とは何の関係もありません。全然関係ない。私にしてみれば、ますます明らかになって来たのは、特にここアメリカでは、私たちは、厳しさを増す政府の管理に厳格に従って(ロックステップして)います。(この表現を使うのには理由があります。)これはそういう事なんです。先週、あるオンラインメンバーからこんな報告書を送って貰いました。他にもないロックフェラー財団と グローバル・ビジネス・ネットワークのもので、10年前に制作されたものです。2010年5月。これはオンラインで検索でき、PDFファイルになっています。私はダウンロードしました。報告書の題名は、『未来の技術と国際開発のシナリオ』18ページと19ページに注目したいと思います。その見出しは、「ロックステップ： 厳しいトップダウン型の政府管理と、より権威主義的なリーダーシップを備えた世界。技術革新の制限と、増大する市民の反発。」もしかしたら画面に出せるかもしれません。その見出しをご覧ください。18ページ、ロックステップの見出しの下に監視カメラがあります。この報告書からいくつかの抜粋を引用しますが、それは一種の台本であることを念頭に置いてください。未来のシナリオをシュミレーションをしています。その主たるものが、世界的なパンデミック。10年前です！引用します。2010年のことです。

「2012年、世界が何年も前から予期していたパンデミックがついに発生。...最もパンデミックに備えのある国でさえ、ウイルスが世界中に蔓延すると、すぐに圧倒された。...パンデミックは経済にも致命的な影響を与えた。...人や物資の国際的な移動は急停止し...観光業などの産業を衰弱させ、世界的なサプライチェーンを破壊させた。...地域的にも、いつもは賑やかな店舗やオフィスビルが何ヶ月も人がいないまま。...従業員も顧客もいない。...パンデミックが地球を覆った。...米国の最初の政策は、市民の飛行機利用を強く抑制する事だったが、その寛容さが致命的なものとなった。...米国内のみならず国境を越え、ウイルスの拡散を加速した。...しかし、良い結果を取めた国がいくつかあった。...とりわけ中国。...パンデミックの間、世界各国の指導者が権限を行使し、隙のないルールや制限を課した。...フェイスマスクの着用義務化から、駅やスーパーなどの公共空間の入口での体温チェックまで。...パンデミックが衰退した後も、このより権威主義的な管理と、市民と市民活動の監視は継続され、強化までされた...

増大する世界問題の拡大から身を守る為に。...それらの問題は、パンデミックや、(お聞きください)多国籍テロリズムから、環境危機や、増大する貧困に至り、...世界中の指導者が、権力を更にしっかりと握った。...最初は、より管理された世界という概念が広く受け入れられ、承認された。...市民は進んで自分たちの主権とプライバシーの一部をより父権主義的な国家に明け渡した。...より高い安全性と安定性と引き換えに。...」平和と安全?!「市民はどちらかと言うと寛容であり、トップダウン型の指示や監視に熱心でさえあった。...国の指導者たちは、自分たちの考えに合った方法で秩序を課せる余地があった。...先進国では、このような監視の強化は様々な形で行われた。...例えば、全国民を対象

とした、生体認証 ID。...国益のためにその安定性が不可欠と考えられた、主要産業の規制強化。」  
何ということでしょうか。昨日、私はソーシャルメディアに バリー・マグアイアさんの必読記事を投稿しました。タイトルは、『アメリカに何が起こったのか?』その中で彼は書いてます。「背後には、神を認めない、資金力のある影の実力者、グローバリストたちがいる。彼らは、世界統一宗教と世界統一政府を伴う 新世界秩序を導入したがつている。グーグル検索をすれば、すぐにそれが誰であるか分かる。」

彼はその後、 デビッド・ロックフェラーの言葉を引用しています。「我々は、"世界的な変革"を目前にしている。ただ必要なのは、適切な大規模な危機だ。 そうすれば、諸国は新世界秩序を受け入れよう。」

これまでのアップデートで、多くの人を引用をしましたが、 その中の一人がヘンリー・キッシンジャーです。また他にも彼のような人たち。 彼らは皆同じことを言ってきました。

「世界的な危機がある。...世界の危機に対処する唯一の方法は、 世界政府と世界指導者だ。」それがこれが向かっている方向であり、 だから、今これが起こっているのです。そして、ここが要点です。

ああ、すごい。まさに聖書通りなんです。この 14 年間、私は この説教壇の後ろに立つ特権に預かり、私は、こうなると言ってきて、 皆さんに向かって叫んできました。前列席の皆さんに唾を飛ばし、 無料で洗礼を授けてきました。「もう来る。もう来る。」と。今はそう言いません。今は「もう来る。」とは言わず、「来た~~~~!!」「今起こっている~~~~!!」混沌...これは朗報です。 皆さんの中には私を見て、こう思っています。「牧師さん、もういい加減にしてください。」でもね... これは朗報です。この新世界秩序の探求における混沌と無秩序は、 神の預言のご計画に、完璧にはまって行っています。全知の神が、これら全ての事が起こるのを 許しておられるのです。そして神は私たちに、終わりが来るためには この事が起こるとお告げにもなりました。これらのことは、終わりが来るために、 必ず起こらねばならないのです。しかし、やはり...どう言えばいいのでしょうか? 主よ、助けてください。あなたの悲しみの深さは、 あなたが失った誰かを愛した深さに比例しています。ですよね? だから、この悲しみのプロセスは... もしこの愛がなければ、 この悲嘆はなかったでしょう。愛すれば愛するほど悲しむことになります。誰のことも責めたくないのだから、ここは気をつけたいのですが、言う必要があります。誰かが、この世界を愛しているなら、 (さらに踏み込んで 言うと) この国をあまりにも愛するために、それが過ぎ去ろうとしているという事実を 受け入れたくなくて、まだその否認の段階にいるなら、私はあなたに何と行っていいか 分かりません。... 私には言葉がありません。神の御言葉の中の、預言的な構図や預言的な計画を 要約して見出しを付けるとしたら、その見出しは、こんな感じになります。「そこで快適になり過ぎないように!...この一時的な世の土壤に 根を深く張りすぎてはいけない。...なぜならわたしは、この世界から あなたを連れ出しに来るのだから。」「あなたは、そこにいるが、そこには属さない。」「この世はあなたの本当の家ではない。」つまり...簡略し過ぎかもしれませんが、それが聖書の預言の構図であり、 約束なのです。中には、本当に大変な試練を通っている人がいます。手放すことはそんなに問題ではありません。あなたにとっては、「主はいつ来られても、 早すぎることはない」という感じで、「もうここは うんざりだ。」ご辛抱ください。聞き逃さないでほしいのです。これが真実ではありませんか? 物事が順調な時は、主が来られること、携挙は、「まあ、悪くないね。」しかし、逆境が襲い、危機が訪れた時は? (「もし」ではありません。必ずそういう時は来ますから。)「主よ、早く来てください~!!」 となります。ふーん...もしかししたら、

神が危機に続く危機をお許しになってきたのは、私たちが思わず手を挙げて、「うわあ！」と言うためでは？「ちょっと待てよ。ほ～ マジでヤバくなってきたぞ。」私は神を想像します... こんな風に描写するのを許してください。神がこんな風に言われるのを想像してしまうんです。「いまさら？」

「主よ、この世は本当に酷くなって来ました。」「そうだよ～もしも～し！（笑）」「言っておいただろう？ 少なくとも、言ってやろうとしたんだ...あなたの注意を引こうとしてきたんだ。」「これが必要だったようだね。」何としても、ですよ？何としても。もしこれが必要なのなら、どうぞ！！それでいい！今日は、締めくくりに、お二人の話をしますが、終わらせますから、時計を見ないでください。このために何人の人が キリストのもとに来たか知っていますか？ 神は、すべての人のためのご計画を 御手の中に持っておられます。私たちはそれを思い起こす必要があると思います。私たちが知っている人類歴史の 最後の時刻であるこの時、それは、人間のための神のご計画の中に、完璧にはまって行っているのです。確かに、私たちが知っている通りの 人類歴史における最後の時刻なのです。先週、地元のキリストにある兄弟から メールが来ました。彼はアイザック・ニュートンの引用を 私に思い出させてくれました。ナサニエル・ウェストの『The Thousand Years in Both Testaments (両聖書における千年間)』の 462 ページに引用されています。引用します。「終わりの時について、...

...預言に目を向ける人たちが興され、...彼らは、多くの抗議と反対の中、 それらを文字通りに解釈することを主張する。」2006 年、初めてこのアップデートを始めた時は、 多分やっている人は数人だったと思います。さて今や、聖書預言の話をしている人が どれだけいるかご存知ですか？ 終わりに近づくにつれて。 私は神をほめたたえます。神を褒め称えます。神を褒め称えます。皆さんも同意されると思いますが、 この教会に関しては、聖書預言の文字通りの解釈に、目を向けてきました。そして聖書の中の最初の預言... 聖書の中の最初の預言が何かご存知ですか？創世記にあります。創世記 3 章 15 節、 聖書預言が最初に出てくる箇所です。パワフルな預言です。その預言が何か、ご存知ですか？ 世の救い主が、処女から生まれる、 女の種から生まれる事です。女性には種がありません。男性に種があり、女性には卵がある。だからそれが処女降誕です。世界の救い主は処女から生まれる。そして、サタンは彼の踵を打つが、、、 それは十字架刑です。救世主はサタンの頭を打ち砕く。ああ～、待ち切れません。 それは悪いことでしょうか？ それを最前列で見れるようお願いしましたから。私は確信しています...ヨハネの黙示録にある幾つかの記述が 示唆しているところでは、サタンが永遠の火の池に投げ込まれる時、 私たちは最前列で見ることができるとも思いません。待ち遠しいですね。それが聖書の中の最初の預言、 創世記 3 章 15 節。聖書全体の約 3 分の一が ほぼ間違いなく預言です。最初の預言は... 聖書の最初の預言が、 救い主の初臨の預言であるのは、 ふさわしい事だと思いませんか？ 人類の罪のために十字架で死に、 3 日後に死者の中からよみがえり、 そして、再び来られる。それが福音であり、それが良い知らせなのです。そして良い知らせ、イエス・キリストの福音が、 聖書の最初の預言です。それが福音という言葉。良い知らせです。あなたの負債は完済されました。自由に行ってよい。

**「ですから、子があなたがたを自由にするなら、 あなたがたは本当に自由になるのです。」 (ヨハネ 8:36)**

私たちは預言アップデートを 福音と、救いの ABC で締めくくって来ました。子供でもわかるシンプルな物で、 子供じみたではなく、子供にでもわかる、です。 誰の知性も侮辱するつもりはありません。子供にでも分かる、簡単な救いの説明です。イエスは、仰いました。

「子供のように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに入ることはできません。」 (ルカ 18 : 17)

子供っぽくなれ、ということではありません。子供のような信頼を置く事が 必要だという意味です。子供たちがいかに信頼するかを ご存知ですよ。だからこそ、「知らない人は危険」だと、教えなければならぬのです。子供たちは大変信頼するからです。それがイエスが仰っていることです。そういう子供のような信頼を 私に置きなさい。それが救いの ABC です。しかしその前に、先週頂いた、2つの証(あかし)を紹介したいと思います。1つ目はグレッグ・マーシャルさんからです。

「2016年、人々が紹介したあなたの預言アップを、私はいささか定期的に見ていました。時間が経つにつれ、娘と一緒に過ごす時間に、いくつか見せるようになりました。ジェシカがそのビデオが好きだと言ったので、私はビデオを見せ続けました。でも大抵、ABCが始まる時点でビデオを止めていました。

ある日、私は終わってから、自分は 何をしているのだろうかと思いました。というわけで、次のアップデートは最後まで再生しました。次の動画も同じようにして、ABCについてもう少し説明しました。

そして最後にジェシカに、イエス様を受け入れたいかどうか尋ねたところ、「はい」と答えてくれました。だから、あなたのビデオを使って、自分の娘をイエス様に導くことができました。ありがとうございます。JD 牧師。神は働いてくださっています。常に。なぜなら、1~2週間後に落ち着いて、何が起こったのかを理解した時、私はまた創造主が私に、娘を主である救い主に導く特権を与えて下さった事にも気がついたからです。神が娘をイエス様のもとへ導くという素晴らしい特権を与えてくださるとは夢にも思っていませんでした。未だに感情を抑えることが出来ずにいます。」

2つ目はケリーさんからです。「仕事場で同僚と『いったい何が起きているのか』という話をしていました。私は彼女に、これらはすべて段階である事を説明し、黙示録や携挙、地獄についての話までしました。そして彼女に、イエス・キリストを心の中に受け入れたかどうかを尋ねると、彼女は「どうやって?」と聞くので、私は嬉しさに飛び上がりました。いい意味で緊張し、一気に興奮しました。私は、彼女に伝えられるように、二人で個室に行きました。私はつかえつかえ、手を震わせながら、救いのABCを説明をしました。彼女はイエスを受け入れ、祈りました。緊張と興奮で、2人で涙を流し、私たちは抱き合いました。神にすべての栄光を！」この話にはオチがあります。

「私は救いのABCをパソコンに入れていたのですが、削除してしまっていました。」ちなみに、うちのサイト、[calvarychapelkaneohe.com](http://calvarychapelkaneohe.com) からダウンロードできます。複数の言語で用意されています。テンプレートで、当サイトから様々な形でプリントアウトできます。彼女はパソコンに保存していたけど、削除してしまった。

「長い話を短くすると、探してみても、ある一つの救いのABCを、保存していたことを見つけました。そして、印刷しようと思いました。これは昨日、6月1日のことです。印刷して職場のロッカーに入れておいたのですが、すっかり持ち帰るのを忘れていました。」完璧! 「今日はそれを使うのに完璧な日でした。」これが、ABCをする理由です。

それはあなたに、備えとして、あなたが使用できるものを与えるものです。主があなたに重大な特権を与えられる時のため。神はそうしたいと願っておられると、私は心から信じています。主は、主を必要としている誰かをあなたの前に連れて来たいと思っておられます。あなたが持っているその希望

の答えを あなたが彼らと分かち合い、彼らに与えるために。シンプルなテンプレートです。聞いてください。私にできるなら、皆さんにもできます。本当です。私にできるなら、皆さんにもできます。「先生、あなたは説教壇に立つじゃないですか！」でもそれが問題なんです。以前にお話ししましたね。一対一よりも説教壇の後ろにいる方がずっと簡単なんです。しかし、主があなたに福音を伝える機会と 重大な特権を与えてくださる時、あなたはただ、彼らを主に導きさえすれば良いのです。それだけです。彼らを救世主に紹介するんです。ABCを使えばいいのです。とても簡単で、敵意もなくなるものです。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。  
自分は罪びとであり、罪に対して、救い主/救世主が必要であると認めるのです。

ローマ人への手紙 3 章 10 節、

**「正しい者はいない。一人もいない。」（ローマ 3：10）**

ローマ人への手紙 3 章 23 節が その理由を教えてください。

**「人は皆（私たちの誰しもが）、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」（ローマ 3：23）**

私たちは皆、罪びととして生まれて来たので、皆、生まれ変わらねばなりません。天の国に入るためには、新しく生まれなければならないと、イエスは言われました。

ローマ人への手紙 6 章 23 節、

**「罪が支払う報酬は死です。...」（ローマ 6：23a）**

それは死刑宣告です。しかし、ここで良いニュースです。

**「しかし、神の賜物は、私たちの 主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」（ローマ 6：23b）**

贈り物が贈り物であるのは、自分でお金を払わないからですね？ でも他の誰かが支払いましたね？ 贈り物にお金を払ったら、それはもう贈り物じゃなく、買ったものです。誰かがその贈り物を 購入せねばならなかったんです。イエスは永遠の命の賜物を購入し、その代金を全額支払われました。それは彼に全てを課し、彼の命を犠牲にさせました。主が永遠の命というこの贈り物を提供されていて 私たちはそれを受け取るだけです。私たちに出来ることは何もありません。すでに彼がして下さったから。「完了した。」私たちが付け加えられる物はありません。私たちが更に出来ることは何もありません。完了したのです。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節には こう書かれています。

**「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10：9）**

それは決定的です。決定は下されました。評決が出ました。あなたは救われるのです。

そして最後の C は、

C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

また、ローマ人への手紙 10:9-10 にもあるように、

**「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10：9）**

その理由はこれです。

「**実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」**（ローマ 10：10）

どうやって、心で信じて 口で告白するのかわかるか？

それが、ローマ 10 章 13 節、

「**主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」**（ローマ 10：13）

それは単純すぎますか？ そうかもしれません。それほど簡単なことなのです。ご起立ください。祈りましょう。

主よ、ありがとうございます。主よ。何よりもまず、私たちの身代わりで 死んでくださった事に感謝します。私たちの罪の赦しのために あなたの血が流されたことに。あなたの死によって、罪の代価が全て支払われたことに。主よ、救いの良い知らせに感謝します。永遠の命という贈り物に。主よ、私はまずここに来られた人々で、またオンラインで見られる人々で、あなたを呼び求めたことがなく、口で告白し、心で信じ、あなたの御前で自分の罪を認め、救い主としてのあなたを必要と認めた事のない方、

今日が彼らの救いの日となりますよう祈ります。永遠の命のためにできる、人生で最も重要な決断を先延ばしにしたり、遅らせる事はありませんように。今日は救いの日です。

「**主を求めよ、お会いできる間に。呼び求めよ、近くにおられるうちに。」**（イザヤ 55：6）

主よ、まだ時間があります。もうあまり時間がないのは分かっています。あのラッパは、もういつでも鳴る可能性があることを知っています。そうなって欲しいのです、主よ。しかしどうか、準備ができていない人のために、今日、彼らがきっぱりと決着を付けることを祈っています。そして主よ、早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって。アーメン

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7